

農業

■問い合わせ先 農政総務課 TEL 055-223-1583

山梨県は、変化に富んだ自然や大消費地の東京圏に近い有利な立地条件を生かしながら、農業者のたゆまぬ努力と「匠の技」などにより、特色ある農業の産地を形成しています。

ブドウ、モモ、スモモは全国一の生産量を誇りフルーツ王国として知られる本県には、他にも生産者が作り上げる優れた農畜水産物が揃っています。こうした逸品を多くの方の手に取っていただけるようプロモーションやブランド力向上に取り組んでいます。

おいしい未来へ やまなし

山梨県は、良質な水や長い日照時間、豊かな土壌に恵まれており、高品質な農畜水産物が生産されています。県では「おいしい未来へ やまなし」をキャッチフレーズに、県産の農畜水産物の魅力を発信し「やまなしブランド」の浸透を図っています。農業分野から脱炭素社会の実現に貢献する「4 パーミル・イニシアチブ」や家畜の快適性に配慮する「アニマルウェルフェア」など、先進的な取り組みを実践し紹介しています。また、芸術品ともいわれる本県の逸品を生み出す匠の技や生産者の想いをストーリーとして広く発信しています。今後も生産者の所得向上の実現に向け、積極的なプロモーションを展開し、県産農畜水産物の価値を高めていきます。



「おいしい未来へ やまなし」
について詳しくはこちら



YAMANASHI
4 per 1000
INITIATIVE

4パーミル・イニシアチブのロゴマーク



YAMANASHI
ANIMAL
WELFARE

アニマルウェルフェアのロゴマーク

期待の新品種が本格デビュー

県オリジナル品種のブドウ「サンシャインレッド」が誕生しました。口に入れると“マスカット香”に加えて華やかな香りが立ち上がり、噛めばジューシーな甘みが広がります。令和6年7月の東京・大田市場の初競りでは1キロ当たり1万円超の値が付くほど高い評価も得ました。

全国の消費者へ広く認知してもらうためには、安定した出荷を継続していく必要があります。県は、計画的な苗木供給と生産拡大を促進し、早期の産地化を目指していきます。



県オリジナル品種「サンシャインレッド」

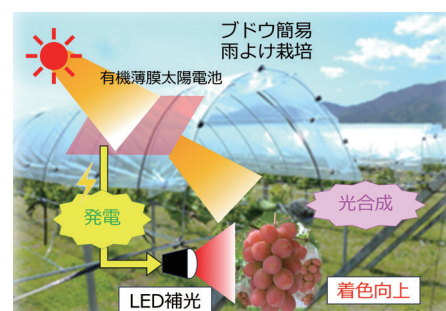
農業もカーボンフリーの時代へ

世界で脱炭素化の動きが進む中、県は水素社会の実現に向けた取り組みとして「カーボンフリー農業」を推進しています。

企業との共同開発によるグリーン水素*を燃料とした加温機の導入や、大学との共同研究により薄く折り曲げることが可能で光を透過する次世代太陽光電池の設置を、令和7年度から、果樹試験場の農業用ハウスなどで実証試験を始めます。

将来的に、カーボンフリー農業により生産された農産物は、環境に配慮した農産物として新たな価値を提供することで、生産者の所得向上につながることを期待できます。

*再生可能エネルギーを使い製造過程でCO₂を一切出さずに造られた水素



有機薄膜太陽電池を活用した、ブドウ簡易雨よけ栽培での発電効率の確認や補光による品質向上の実証（想定図）

地場産業

■問い合わせ先 産業振興課 TEL 055-223-8871

山梨県には、長い時間をかけて磨き上げた伝統的な地場産業が数多くあります。

お酒では、「甲州ワイン」をはじめ国内外で高い評価を受けているワイン、伝統的技法が各地の気候風土に応じて発展し、日本文化に欠かせない存在であることからユネスコ無形文化遺産に登録された「伝統的酒造り」による日本酒があります。プロダクトでは、高度な技術で美術品の域に高められている水晶貴石細工、千年以上の歴史を誇る産地で作られる織物（テキスタイル）、そして風土と暮らしの中で受け継がれてきた印章や印伝といった工芸品などがあります。

雄大な自然と歴史の中で思いを込め、時間をかけて丁寧に仕上げる匠とその技が、本県の地場産業を支えています。



美酒美県やまなし

お酒の地理的表示 (GI) は、地域の気候や風土、伝統的な製法などを生かし、品質にこだわって生産に取り組んでいる産地を国が指定する制度です。

平成 25 年に全国で初めてワインで GI「山梨」が指定され、令和 3 年には日本酒でも GI「山梨」が指定されました。同じ県から 2 つの酒類で GI が誕生したのも全国初です。これを受け県は、美味しいお酒は美しい自然が育てる「美酒美県やまなし」と銘打ち、本県が誇る美しい自然と匠の技から生み出される高品質な日本酒・ワインを国内外に向けて PR しています。

「美酒美県やまなし」として日本酒とワインを PR



やまなしの美技

伝統産業・地場産業の魅力を伝えるべく、さまざまなプロモーションを展開しています。

本県は、国内屈指のジュエリーの産地であり、国際的なジュエリーフェアの開催などブランド化や国内外の販路拡大に向けて取り組んでいます。

富士・東部地域の代表的産品である郡内織物は、海外の展示会出展を通じ、新しい市場の獲得を図っています。

また、印章や和紙などの「山梨県郷土伝統工芸品」の振興や次世代への伝承のため、展示会などを通じ、県内外への PR や普及に努めています。



山梨の夏服「かいくーる」

千年前から郡内地域で受け継がれてきた郡内織物は、時代のニーズに合わせて多様な商品が生み出されてきました。その1つが、山梨県絹人織織物工業組合が中心となり令和 4 年度に製作した「山梨の夏服」です。令和 5 年度には全国知事会公式ウェアに採用され、愛称「かいくーる」が決定し、令和 6 年度には一般販売も行われています。「山梨の夏は『かいくーる』で過ごす」が広まるように県内外への普及に努めています。

